オールカーボンクオッドケイン四点式
メンテナンスガイド

このメンテナンスガイドは必ずお読みいただき、大切に保管してください。

**この「メンテナンスガイド」を必ずよくお読みいただき、充分ご理解の上、
ガイドに従って作業をすすめて下さい。
なお、交換後のトラブル等に関しては、
弊社は一切保障しかねますので宜しくお願いいたします。**

※この「メンテナンスガイド」による作業は、弊社契約のレンタル事業者に限ります。
　取り扱い店及び個人利用者様の作業は禁止させていただきます。
※メーカーの修理品等の発送は、お客様の元払いにてお願いいたします。
※修理中の代替品はございますが、発送及び返却の運賃はお客様負担となりますので、よろしくお願いいたします。

目　次

文中の★印は 修理料金一覧表
　　▲印は メンテナンスパーツ料金一覧表及び発注書
　　■印は パーツ交換マニュアルを表します。

**このガイドに関しまして、ご不明な点やご質問などがありましたら、
弊社サービス係までお問い合わせ下さい。**

株式会社 島製作所 サービス係 ☎06-6793-0991

はじめに

メンテナンス作業を始める前にメンテナンスチェックリストを入手し、リストの順に従って作業を進めて下さい。
メンテナンスチェックリストのメンテナンス実施日、メンテナンス回数、及びメンテナンス実施者の各項目にご記入下さい。

メンテナンスチェックリストの付属部品点検、性能点検の各項目をチェック（確認）しながら作業を進めて下さい。
チェックできない場合は、印に従って（★ 修理料金一覧表・▲ メンテナンスパーツ料金一覧表及び発注書・■パーツ交換マニュアル）メーカーから取り寄せ（有料）、ウェブからのダウンロード等をおこない、すべての項目にチェック（確認）作業をしてから次に進んで下さい。

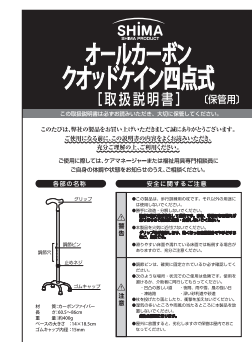
ウェブからダウンロードできるもの

- 取扱説明書
- メンテナンスパーツ料金一覧表及び発注書（▲）
- 修理料金一覧（★）
- メンテナンスチェックリスト
- メンテナンスガイド
- パーツ交換マニュアル（■）

メンテナンス時の作業点検

Ⅰ.付属部品の点検

1. 取扱説明書の点検

①保管されているか点検して下さい。
（ない場合は▲ メンテナンスパーツ料金一覧表からメーカーに発注するかウェブからダウンロードして下さい）

2. グリップカバーの点検

②グリップカバーに傷があったり、摩耗していないか点検してください。
（傷などがあった場合は■と▲を参照し、交換してください。）

Ⅰ.付属部品の点検

4.上管の点検

③調節ピンが上管の調節穴から出ているか点検してください。

下管と接続された状態で点検を行ってください。調節ピンが出ていないと、使用時に高さが変わってしまうことになり、危険です。

④止めネジがあるか点検してください。
（ない場合は▲・■を参照）

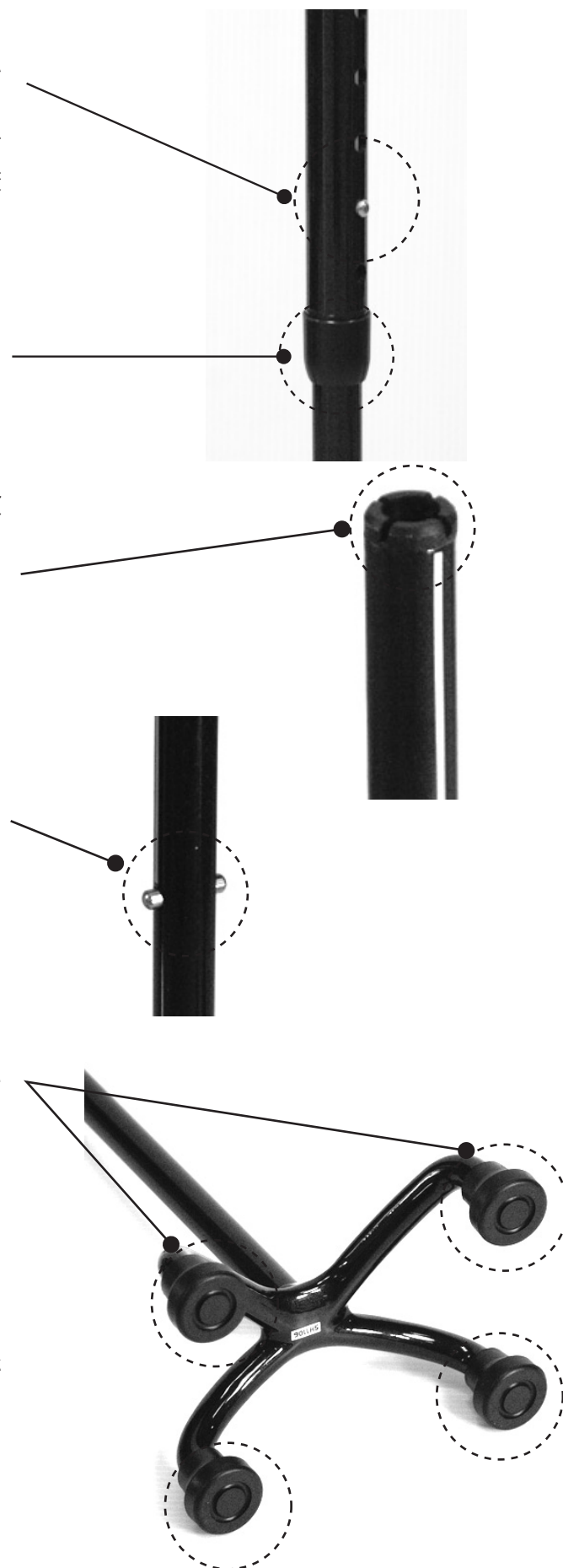
5.下管の点検

⑤下管上部のパイプキャップがあるか点検してください。
（ない場合は▲・■参照）

⑪調節ピンがあることを点検してください。
（ない場合は★参照）

⑫ゴムキャップが4個とも擦り減っていないことを点検してください。
（擦り減っている場合は▲・■参照）

⑬パイプに傷やヒビがないこと点検してください。（ある場合は▲参照）

布等でパイプ部をこすり、布が引っ掛かる事がないかで点検を行ってください。

※付属部品の点検後、部品に不備があった場合、パーツ交換マニュアル（■）を参照しパーツの交換を行ってください。交換後に、次項の性能点検を行ってください。

Ⅱ. 性能点検

1. 本体部分の点検

①平面に置いたとき、四本の足のゴムキャップが平面にすべて接地しているかを点検してください。

四点が接地していない場合は、パイプ本体が曲がっているか、ゴムキャップが確実にはまっていないことが考えられます。

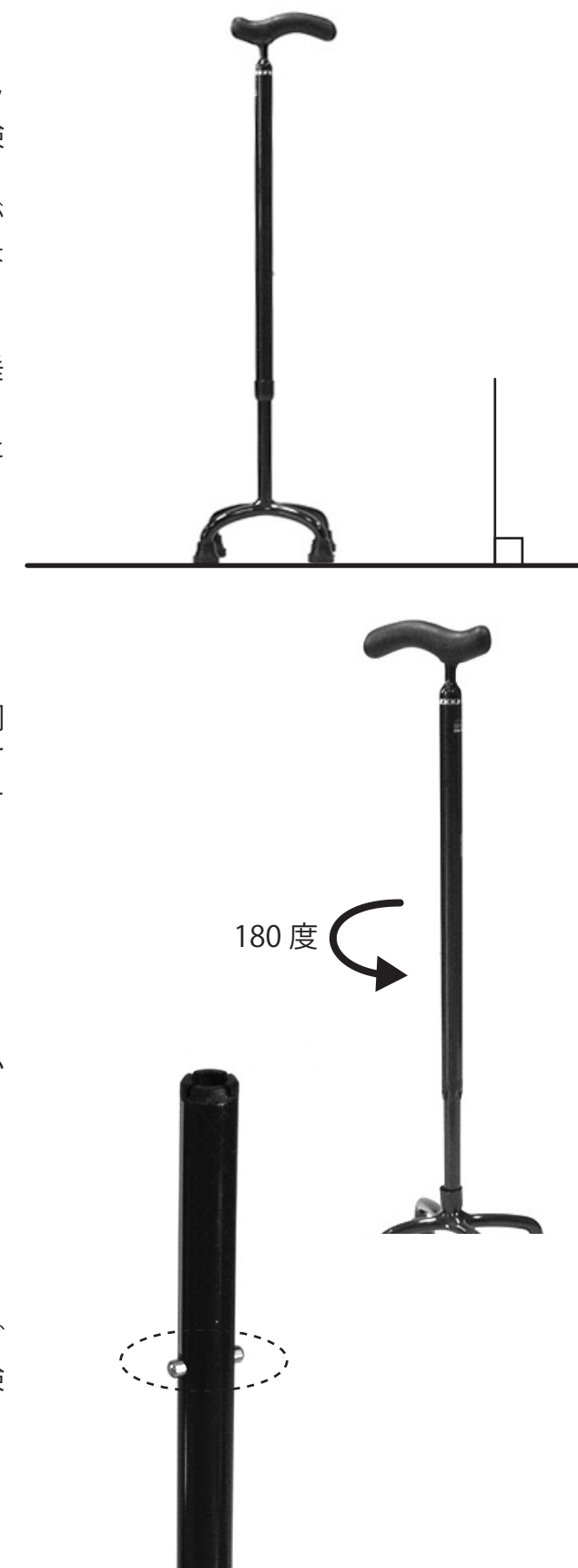
②平面に置いたとき、平面に対して支柱が垂直になっているか点検してください。

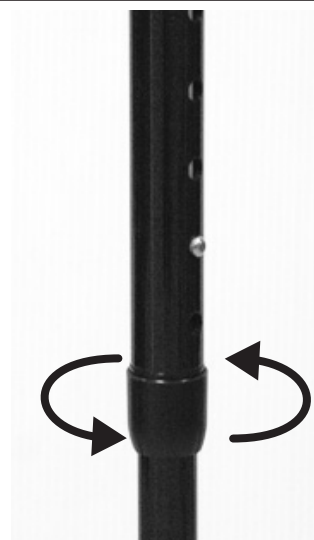
垂直ではない場合はパイプが変形していることが考えられます。
（交換時は▲・■参照）

2. 高さ調節の点検

③上管を180°回転させたとき、調節穴に調節ピンが確実に入ることを点検してください。（調節ピンが確実に穴にはまると、カチッと音が鳴ります。）
（できない場合は★参照）

④各調節穴に調節ピンがスムーズに入るか点検してください。
（入らない場合は★参照）

⑤調節ピンを指で両側から押し、スプリングの力で元の位置まで戻ってくることを点検してください。
（戻らない場合は、★を参照）

Ⅱ. 性能点検

⑥止めネジが緩まらず、確実に締めることができるか点検してください。
（できない場合は▲・■参照）

Ⅲ.点検の終了にあたって

●上管と下管を確実に接続してください。
●取り扱い説明書を入れて下さい。

こんな時には・・・

状　況	原　因	対処方法
杖を置いたときに不安定である	①ゴムキャップの摩耗 ②ゴムキャップが確実にはまっていない ③パイプの歪み	①ゴムキャップの交換 ②確実にはめ直してください ③下管の交換（▲参照）
グリップを握ったらグリップが回る	①グリップの交換時の拭き取りが不十分	①日陰でよく乾燥させてください
調節ピンがはまらない	①パイプ内でスプリングが弱まっている ②調節穴に埃や土が詰まっている	①当社のサービス係で修理を行います（★参照） ②埃や土を取り除いてください
スライドが固い	①止めネジリングが上管に入り込んでいる ②上管か下管の歪み ③上部パイプキャップの歪み ④調節ネジが締まった状態	①止めネジリングを取り除く ②歪んだパイプの交換（▲参照） ③パイプキャップの交換（▲参照） ④調節ネジを緩めて使用

⚠ご注意事項

〈保管・お手入れ方法〉

●ゴムキャップについた泥や汚れなどは、そのまま放置しないで、必ず落として下さい。
●よく絞った布で、土やほこりをふき取って下さい。
●シンナー、ベンジンなどの揮発性溶剤を使用しないで下さい。
●乾いた布で水分を取り、日陰で乾燥して下さい。
●長時間使用しない時は、汚れを落とし、日陰で保管して下さい。
●寒い時、暑い時に直射日光のところに置かないでください。
　グリップが変色することがあります。
●説明書は本体とともに保管して下さい。
●本製品を他の方にお譲りになる時は、必ず本書もあわせてお渡し下さい。

〈廃　棄〉

●廃棄については各自治体の指示に従って処分・廃棄して下さい。

SHiMA SHIMA PRODUCT 株式会社 島製作所
〒547-0001　大阪市平野区加美北3丁目12-5
TEL 06-6793-0991 FAX 06-6793-0992